

# 第114期 中間報告書

(2020.4.1 ⇒ 2020.9.30)

## Contents

- P1 トップメッセージ・財務ハイライト
- P3 営業概況
- P4 連結財務諸表
- P5 会社概要・株式状況





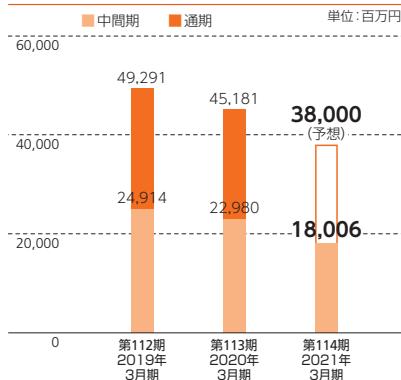
社会の変化や技術の進化を敏感に捉え、必要とされるニーズを追求し続けます。

永年培った独自技術を礎に、多種多様な素材を圧延・複合成型・加工することで、世界のお客さまと共に、新たな価値の創出を目指します。

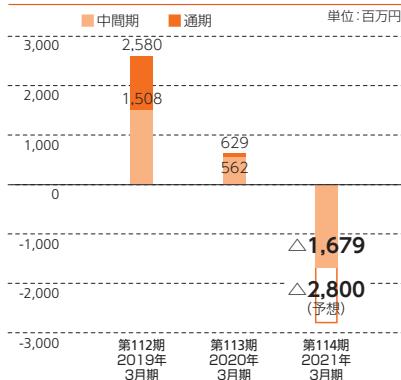
取締役社長 下川 康志

◆ 財務ハイライト (連結)

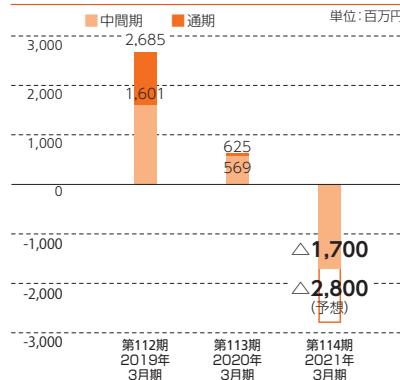
売上高



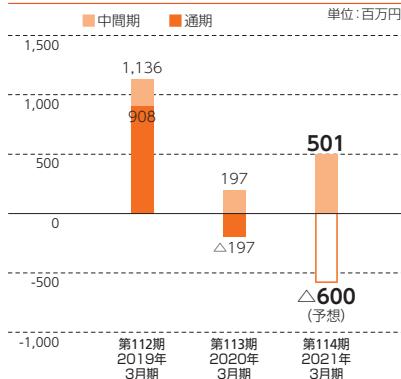
営業利益又は損失 (△)



経常利益又は損失 (△)



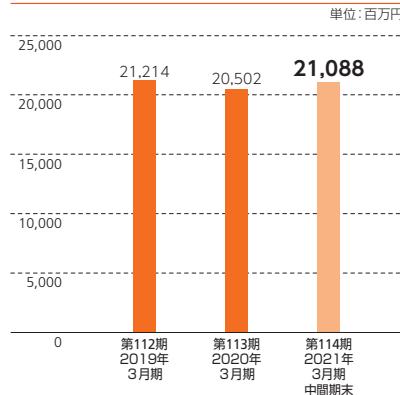
親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益又は損失 (△)



総資産



純資産



## ⇒ 当中間期の経営成績と業績について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益の大幅な減少が続くなど、依然として厳しい状況にあります。海外におきましても、感染再拡大への懸念や通商問題を巡る緊張の長期化など、先行き不透明な状況が続いております。

ステンレス業界におきましては、足下では自動車などの需要分野で回復の動きがみられるものの、経済活動の制限による需要の低迷や在庫調整に伴う売上の減少などにより、非常に厳しい事業環境が継続しています。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き生産効率の向上など業績改善に向けた諸施策の実施に努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主要需要先である自動車関連製品をはじめ大半の需要分野で受注の減少を余儀なくされたことや、みがき帯鋼事業において、昨年11月の当社板橋工場第三圧延工場火災事故に伴う代替工程による生産に係るコストの増加などにより、収益が大幅に悪化しました。

この結果、当中間期における売上高は、前年同期と比べて49億7千3百万円（21.6%）減収の180億6百万円となりました。損益面につきましては、営業損益は16億7千9百万円の損失（前年同期は5億6千2百万円の利益）、経常損益は17億円の損失（前年同期は5億6千9百万円の利益）となりましたが、特別利益に受取保険金23億6千7百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益は3億3百万円（154.1%）増益の5億1百万円となりました。

## ⇒ 配当について

中間配当につきましては、左記のとおり大変厳しい状況でありましたことと、通期では大幅な親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みであることなどから、2020年10月30日に開示いたしました配当予想のとおり、中間配当は見送りとし、期末配当につきましても無配の予想とさせていただくことといたしました。

株主の皆様には大変ご迷惑をおかけし、誠に遺憾に存じますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## ⇒ 通期の見通し

下期におきましては、経済活動は徐々に回復するものと見込んでおりますが、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念などもあり、先行きにつきましては引き続き不透明な状況が続くと予想されます。

今後の見通しにつきましては、売上高の減少による固定費負担増に加え、板橋工場の火災事故による製品供給対応としての代替工程に係る外注加工費や中間材購入などの生産コスト増加影響が継続して発生するため、通期の業績は前期を大きく下回る見通しとなりました。

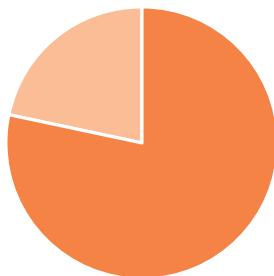
このような状況から、通期連結業績予想数値につきましては、2020年10月30日に開示いたしましたとおり、売上高380億円、営業損益28億円の損失、経常損益28億円の損失、親会社株主に帰属する当期純損益6億円の損失と予想しております。

当社グループといたしましては、引き続き生産効率の改善やコスト削減、競争優位性を有する自動車用光モール向けステンレスや自動車駆動部品用高精度異形鋼などの成長製品の拡販、原材料価格動向の販売価格への適時な反映などに取り組むことで、業績の早期回復に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## セグメント別概況

### ◆ みがき帯鋼事業

売上高比率  
**79.6** %



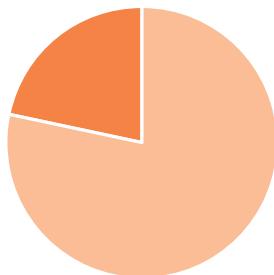
冷間圧延ステンレス鋼帯につきましては、テレワーク、在宅勤務や巣ごもりといった行動様式の変化に伴い、電気機器向けで電池・PC・ゲーム機など、また、通信関連では半導体装置・サーバー向けで増収がありました。しかし、主力製品である自動車用の外装モールや内燃機関・ブレーキ向けなどのバネ材が、新型コロナウイルス感染症による顧客工場の一時的閉鎖や流通在庫の調整などの影響を受け、大幅な販売数量減で減収となりました。

みがき特殊帯鋼につきましては、自動車関連でEV向けコンプレッサーに高強度焼入れ鋼帯、熱効率を向上させた新型エンジン向けにベーナイト鋼帯の受注を新たに獲得しましたが、主力用途の自動車向けの販売数量減で減収となりました。

以上の結果、みがき帯鋼事業の売上高は、前年同期と比べ36億6千2百万円（20.3%）減収の143億3千7百万円となりました。

### ◆ 加工品事業

売上高比率  
**20.3** %



福島工場取扱製品におきましては、主力製品である自動車駆動部品用高精度異形鋼は、需要減に加え、客先の在庫調整が実施されたことから実需を超える減収となりました。建材製品は、グレーチングに使用する当社独自製品で、海外向け大型案件を獲得し増販したものの、国内はオリンピック需要の一服感に加え、物件の延期や中止も影響して減収となりました。

岐阜工場取扱製品におきましては、計測機器・分析機器向けは、前期より中国・台湾向けに受注を開始したことを受け、積極的な需要家の開拓や、より高精度の要求に迅速に対応したことが受注の拡大につながり増収となりました。しかし、自動車用途での需要減に加え、飲料機器向けや中国・欧州を中心に好調に推移した文具向けも新型コロナウイルス感染症の影響を受け減販となりました。

以上の結果、加工品事業の売上高は、前年同期と比べ13億1千1百万円（26.3%）減収の36億6千9百万円となりました。

# 連結財務諸表

## ➤ 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期 2020年9月30日 現在	前期 2020年3月31日 現在
<b>(資産の部)</b>	62,967,153	61,803,770
流動資産	30,270,271	29,793,508
固定資産	32,696,881	32,010,261
有形固定資産	29,304,371	28,730,538
無形固定資産	97,326	103,545
投資その他の資産	3,295,182	3,176,176
資産合計	62,967,153	61,803,770
<b>(負債の部)</b>	41,878,425	41,300,852
流動負債	27,110,078	24,213,787
固定負債	14,768,347	17,087,064
<b>(純資産の部)</b>	21,088,727	20,502,917
株主資本	14,600,019	14,098,766
資本金	6,857,000	6,857,000
資本剰余金	986,351	986,351
利益剰余金	6,766,776	6,265,522
自己株式	△ 10,107	△ 10,107
その他の包括利益累計額	6,488,707	6,404,151
その他有価証券評価差額金	604,587	467,183
土地再評価差額金	5,998,891	5,998,891
為替換算調整勘定	152,266	221,590
退職給付に係る調整累計額	△ 267,037	△ 283,514
負債・純資産合計	62,967,153	61,803,770

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ➤ 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	前中間期 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日
売上高	18,006,771	22,980,742
売上原価	17,335,330	19,702,492
売上総利益	671,441	3,278,249
販売費及び一般管理費	2,350,469	2,715,576
営業利益又は損失 (△)	△ 1,679,028	562,673
営業外収益	108,091	87,626
営業外費用	129,902	80,679
経常利益又は損失 (△)	△ 1,700,839	569,620
特別利益	2,431,400	—
特別損失	20,936	178,988
税金等調整前中間純利益	709,624	390,631
法人税、住民税及び事業税	213,060	83,308
法人税等調整額	△ 4,689	110,051
親会社株主に帰属する中間純利益	501,254	197,271

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ➤ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間期 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	前中間期 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,222,352	1,126,827
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,180,454	△ 922,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,677,953	△ 172,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 39,370	16,409
現金及び現金同等物の増減額	235,775	48,435
現金及び現金同等物の期首残高	6,150,124	6,354,120
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,385,899	6,402,555

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ➔ 会社概要 (2020年9月30日現在)

創業	1930年11月10日
設立	1939年12月2日
本店所在地	東京都板橋区舟渡四丁目10番1号
本社事務所	東京都港区芝五丁目30番7号 電話 (03) 5765-8111 (大代表)
資本金	68億5千7百万円
連結従業員数	905名
当社従業員数	602名

## ➔ 役員 (2020年9月30日現在)

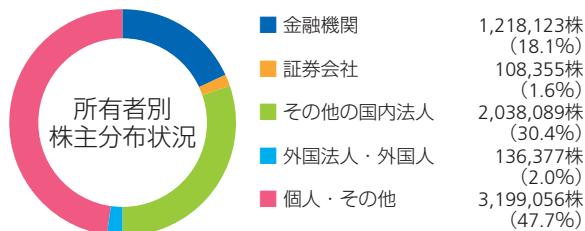
取締役社長 (代表取締役)	下川康志	社外取締役 (独立役員)	小川和洋
専務取締役	原田喜弘	常任監査役 (常勤)	大西敏夫
専務取締役	山下匡史	社外監査役 (独立役員)	鶴岡通敏
常務取締役	長谷川伸一	社外監査役	掛橋幸徳
常務取締役	山崎 修		

## ➔ 株式の状況 (2020年9月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 24,000,000株
- ② 発行済株式総数 6,694,469株  
(自己株式5,531株を除く)
- ③ 株主数 5,200名  
(うち、単元株主数 4,726名)
- ④ 大株主

株主名	持株数	持株比率
	百株	%
日鉄ステンレス株式会社	8,725	13.0
日本金属取引先持株会	6,014	8.9
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	3,787	5.6
J F E 商事株式会社	2,820	4.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,385	3.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,661	2.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,337	1.9
株式会社みずほ銀行	1,000	1.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	960	1.4
富国生命保険相互会社	904	1.3

(注) 持株比率は自己株式(5,531株)を控除して計算しております。



## ➤ 事業所 (2020年9月30日現在)

- ◆ **本社事務所**  
東京都港区芝五丁目30番7号  
〒108-0014 電話 (03) 5765-8111 (大代表)
- ◆ **大阪支店**  
大阪府大阪市中央区淡路町三丁目6番3号 御堂筋MTRビル  
〒541-0047 電話 (06) 7711-6133 (代表)
- ◆ **名古屋支店**  
愛知県名古屋市中区新栄町一丁目1番地 明治安田生命ビル  
〒460-0004 電話 (052) 962-6671 (代表)
- ◆ **板橋工場**  
東京都板橋区舟渡四丁目10番1号  
〒174-8560 電話 (03) 3968-6300 (代表)
- ◆ **岐阜工場**  
岐阜県可児市姫ヶ丘二丁目24番地  
〒509-0249 電話 (0574) 63-1071 (代表)
- ◆ **福島工場**  
福島県白河市東釜子字鹿島1番地  
〒961-0303 電話 (0248) 34-2961 (代表)



## グループ会社

(日本)

- ◆ 日金スチール株式会社
- ◆ 日金精整テクニクス株式会社
- ◆ 日金電磁工業株式会社
- ◆ 株式会社セフ

(海外)

- ◆ 日旌鋼鉄貿易 (上海) 有限公司
- ◆ NIPPON KINZOKU (THAILAND) CO., LTD.
- ◆ NIPPON KINZOKU (MALAYSIA) SDN. BHD.

## ➔ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り方法 の変更等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 フラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります。)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページ (<https://www.nipponkinzoku.co.jp>) に掲載します。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場取引所 東京証券取引所市場第1部

## ➔ ホームページのご案内



<https://www.nipponkinzoku.co.jp>



日本金属公式YouTubeチャンネル  
会社・各工場紹介動画をご覧ください。

## ➔ 主要製品

事業	主要製品
みがき帯鋼	冷間圧延ステンレス鋼帯、みがき特殊帯鋼、マグネシウム合金帯
加工品	型鋼・精密異形鋼等ロール成形品、ステンレス精密細管、電磁製品



# 日本金属株式会社

本社事務所 〒108-0014 東京都港区芝五丁目30番7号  
TEL. (03) 5765-8111 (大代表) FAX. (03) 5765-8116

<https://www.nipponkinzoku.co.jp>